

令和2年度 施策・基本事業マネジメントシート（令和元年度実績に基づく評価）				作成日 令和 2 年 7 月 3 日			
政策体系	基本目標名	2	新たな流れの創造による賑わいまちづくり	施策主管課長	観光立市推進課		
	政策名	1	観光とコンベンションによる賑わいと活力あるまちづくり		高橋 利彰		
	施策名	1	ひとを集める観光戦略の展開				
施策関係課	都市ブランド推進課、市民活動促進課、市民生活課、産業立市推進課、農政課、農山村振興課、文化立市推進課、スポーツ立市推進課、文化財課						

1. 施策の目的と成果把握

施策の目的「対象」	この施策は、誰、何を対象としているか	対象指標				単位	H30	R1	R2	成果指標設定の考え方		
	①国内に居住する人(関東地方) ②アジアの観光客 ③市民	① 関東地方1都6県の人口	千人	43,359	43,464							
施策の目的「意図」	この施策によって、「対象」をどういう状態にするのか ①②佐野市を訪れてもらう。 ①②佐野市に宿泊してもらう。 ③おもてなしの心で観光客を受け入れられる。	成果指標(意図の達成度を表す指標)				区分	単位	H30	R1		R2	R3
		① 市の観光入込客数	目標 実績	千人	10,000 8,741	10,000 8,575	10,000	10,000				
		② 市の観光宿泊客数	目標 実績	人	47,000 61,489	48,000 62,474	49,000	50,000				
		③ 外国人宿泊客数	目標 実績	人	700 971	800 1,577	900	1,000				
		④ 観光ボランティアガイド協会の登録人数	目標 実績	人	50 35	60 41	60	70				
		⑤	目標 実績									
成果指標の取得方法												
①②③観光の目的で佐野市を訪れてもらう、宿泊してもらうを増やすことがこの施策の目的であり、観光客の入込数や宿泊数を把握することにより各種事業の成果向上が期待できるため、成果指標として設定した。 ④市民がおもてなしの心を持っていることのひとつの形として、中心的に活動する観光ボランティアガイド協会の登録者数や活動回数を把握することにより、各種事業の成果向上が期待できるため、指標として採用した。												
① 栃木県観光客入込数・宿泊数推定調査結果 ② 栃木県観光客入込数・宿泊数推定調査結果 ③ 栃木県観光客入込数・宿泊数推定調査結果 ④ 観光立市推進課資料 ⑤												

2. 基本事業の目的と成果把握

基本事業名	対象	意図	成果指標	区分	単位	H30	R1	R2	R3	基本事業名	対象	意図	成果指標	区分	単位	H30	R1	R2	R3
積極的な誘客を図る観光戦略の推進	①国内に居住する人 ②アジアの観光客	本市の魅力を知ってもらい、来訪、宿泊してもらう。	① 市の観光入込客数	目標 実績	千人	10,000 8,741	10,000 8,575	10,000	10,000	コンベンション事業の推進	①関連イベント ②関連作品	①本市で開催する。 ②本市で撮影してもらう。	① コンベンション協会の設立	目標 実績	件	0 0	1 0	-	-
			② 広域での連携事業数	目標 実績	事業	15 14	15 8	16	16	② コンベンション事業数			目標 実績	事業	8 7	8 5	8	8	
			③ テレビ(全国ネット)が取り上げた件数	目標 実績	件	10 12	10 16	10	10	③ ロケ誘致件数			目標 実績	件	55 25	55 21	55	55	
インバウンド誘客の強化	①市内事業所 ②アジアの観光客	①受入環境を整備してもらう。 ②本市に来訪、宿泊してもらう。	① ハラール対応店舗数	目標 実績	店	16 21	18 21	20	22	おもてなしの心の醸成	①市民	観光客に対するおもてなしの心が醸成されている。	① 観光ボランティアガイドの活動回数	目標 実績	回	95 114	100 73	100	100
			② 外国人宿泊数	目標 実績	人	700 971	800 1,577	900	1,000	② まちの駅の数			目標 実績	箇所	55 35	55 35	55	55	
			③	目標 実績						③			目標 実績						

3. 施策及び基本事業の目標達成度評価

施策	令和元年度施策の取組方針				施策の取組方針・成果指標達成状況						
	<ul style="list-style-type: none"> 県と連携した効果的な栃木デスティネーションキャンペーンのアフターDC関連事業を実施する。 首都圏を中心に、近隣市町、関係機関と連携した広域的な観光キャンペーン及びインターネットによる情報発信等、本市の観光情報・魅力を効果的に発信し、観光入込客数及び宿泊客数の増加を図る。 コンベンション協会の設立について検討する。 日本女性会議などの催事において、観光ボランティアガイドの利用促進を図るとともに、それに対応できるボランティアの技術向上・増員に努めるほか、新たな「まちの駅」の設置と駅間の連携強化を図る。 両毛ムスリムインバウンド推進協議会を中心に企業や地域と連携し、ムスリム受入態勢の充実を図り、本市を訪れる外国人の増加を図る。 	<input checked="" type="checkbox"/> 全て達成 <input type="checkbox"/> 一部未達成 <input type="checkbox"/> 全て未達成	<input checked="" type="checkbox"/> 全て達成 <input type="checkbox"/> 一部未達成 <input type="checkbox"/> 全て未達成	<input checked="" type="checkbox"/> 全て達成 <input type="checkbox"/> 一部未達成 <input type="checkbox"/> 全て未達成	【施策の取組方針達成状況】 ・4月から6月にかけてアフターDC関連事業の実施や通年で近隣市町・関係機関と連携した広域的な観光キャンペーンのほか、佐野プレミアム・アウトレット内に本市のアンテナショップを臨時出店し、観光入込客数・宿泊客数の増加に努めた。 ・コンベンション協会の設立に関しては、観光誘客のための新たな組織となる「さの版DMO」の設立方針等をまとめた。 ・アフターDC関連事業や唐沢山城跡等での臨時観光案内所において観光ボランティアガイドが活躍した。また、「まちの駅ネットワーク」の「まちの駅通信」で各駅のイベント情報を発信することで、駅間の連携強化と新駅の募集に取り組んだ。 ・フィルムコミッション事業においては、地域おこし協力隊員を採用したことにより撮影支援体制を刷新し、撮影誘致の推進に努めた。 ・両毛ムスリムインバウンド推進協議会やジャパン・ワールド・リンク棟との連携により、北関東インバウンドサミットを開催し、北関東エリアへのインバウンドの強化を図った。						
基本事業	令和元年度基本事業の取組方針	基本事業の取組方針・成果指標達成状況				令和元年度基本事業の取組方針	基本事業の取組方針・成果指標達成状況				
積極的な誘客を図る観光戦略の推進	<ul style="list-style-type: none"> 県と連携した効果的な栃木デスティネーションキャンペーンのアフターDC関連事業を実施する。 首都圏を中心に、近隣市町や関係機関等と連携した広域的な観光キャンペーン等の推進とICTの活用により、本市の観光情報・魅力を効果的に発信する。 	<input checked="" type="checkbox"/> 全て達成 <input type="checkbox"/> 一部未達成 <input type="checkbox"/> 全て未達成	<input type="checkbox"/> 全て達成 <input checked="" type="checkbox"/> 一部未達成 <input type="checkbox"/> 全て未達成	<input type="checkbox"/> 全て達成 <input checked="" type="checkbox"/> 一部未達成 <input type="checkbox"/> 全て未達成	<input type="checkbox"/> 全て達成 <input checked="" type="checkbox"/> 一部未達成 <input type="checkbox"/> 全て未達成	コンベンション事業の推進	<input checked="" type="checkbox"/> 全て達成 <input type="checkbox"/> 一部未達成 <input type="checkbox"/> 全て未達成	<input type="checkbox"/> 全て達成 <input checked="" type="checkbox"/> 一部未達成 <input type="checkbox"/> 全て未達成	<input type="checkbox"/> 全て達成 <input checked="" type="checkbox"/> 一部未達成 <input type="checkbox"/> 全て未達成	<input type="checkbox"/> 全て達成 <input checked="" type="checkbox"/> 一部未達成 <input type="checkbox"/> 全て未達成	【基本事業の取組方針達成状況】 ・両毛ムスリムインバウンド推進協議会やジャパン・ワールド・リンク棟との連携により、北関東インバウンドサミットを開催した。 ・観光誘客のための新たな組織となる「さの版DMO」の設立方針等をまとめた。 【成果指標達成状況】 ・令和元年度東日本台風の影響が、10月以降のコンベンション事業数とロケ誘致件数にマイナスに作用した。
インバウンド誘客の強化	<ul style="list-style-type: none"> 両毛ムスリムインバウンド推進協議会や企業等と連携し、ムスリム受入体制の充実を図る。 	<input checked="" type="checkbox"/> 全て達成 <input type="checkbox"/> 一部未達成 <input type="checkbox"/> 全て未達成	<input checked="" type="checkbox"/> 全て達成 <input type="checkbox"/> 一部未達成 <input type="checkbox"/> 全て未達成	<input checked="" type="checkbox"/> 全て達成 <input type="checkbox"/> 一部未達成 <input type="checkbox"/> 全て未達成	<input checked="" type="checkbox"/> 全て達成 <input type="checkbox"/> 一部未達成 <input type="checkbox"/> 全て未達成	おもてなしの心の醸成	<input checked="" type="checkbox"/> 全て達成 <input type="checkbox"/> 一部未達成 <input type="checkbox"/> 全て未達成	<input checked="" type="checkbox"/> 全て達成 <input type="checkbox"/> 一部未達成 <input type="checkbox"/> 全て未達成	<input checked="" type="checkbox"/> 全て達成 <input type="checkbox"/> 一部未達成 <input type="checkbox"/> 全て未達成	<input checked="" type="checkbox"/> 全て達成 <input type="checkbox"/> 一部未達成 <input type="checkbox"/> 全て未達成	【基本事業の取組方針達成状況】 ・観光ボランティアガイド養成講座修了者6名が新規加入した。 ・観光ボランティアガイド協会が、唐沢山城跡や観光物産会館で、約8千人の観光ガイドを行った。 ・「まちの駅ネットワーク」の「まちの駅通信」の発行を9回行い、各駅のイベント情報を発信することで、駅間の連携の強化と新たな街の駅の募集に取り組んだ。 【成果指標達成状況】 ・令和元年度東日本台風の影響で、10月以降の観光ボランティアガイドの活動回数が前年に比べ減少した。

4. 施策の基本情報

施策の基本情報	社会情勢変化、国・県の動向、市民・議会意見等	施策の成果向上に向けての役割分担		
		市民	事業所	行政
<ul style="list-style-type: none"> 圏央道の大部分が開通したことにより観光圏が広がった。 2021年に「東京オリンピック」が開催される。 新型コロナウイルス感染症の影響により2020年5月の訪日客数は前年同月比99.9%減となり、当面の間インバウンドによる誘客は見込めない。 国立情報学研究所などが推計した外出自粛率から、本県で緊急事態宣言が解除され1か月が経過した後も県民が休日の外出を控えている傾向が読み取ることができ、観光施設への誘客面で大きな影響を及ぼしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 市内の魅力を伝える。 フィルムコミッション事業にエキストラとして協力する。 おもてなしの心で受け入れる。 観光ボランティアとして協力する。 外国人旅行者への理解を深める。 	<ul style="list-style-type: none"> フィルムコミッション事業にロケ地の提供などの協力をする。 旅行者のニーズに対応した商品、サービスの開発、提供 行政との積極的な連携 まちの駅に登録する。 	<ul style="list-style-type: none"> 市内の観光資源を効果的に結び付け、総合的な観光PR活動を展開する。 事業者や関係機関と連携し、観光PRを行う。 効果的な誘客対策の実施 「新しい生活様式」に沿った施策の展開と受入環境の整備 広域連携による観光誘客策の検討 おもてなしの心の普及、啓発をする。 	

5. 施策全体の総括・今後の課題・今後の方向性

施策の成果実績と施策の基本情報及び施策コストに関する全体総括	今後の課題	今後の方向性
<ul style="list-style-type: none"> アフターDC期間中の本市への観光客入込数は前年度を上回ったが、令和元年度東日本台風の影響により観光客入込数は前年度を下回った。 観光客並びに外国人宿泊数は前年度を上回り、目標を達成できた。 観光協会へ委託することにより、効果的な観光キャラバンを実施できた。 JR東日本、東武鉄道、及び近隣市町と連携し、主に首都圏での観光キャンペーンを実施した。 佐野プレミアム・アウトレットにおいて本市のアンテナショップを臨時的に出店したほか観光キャンペーンを展開し、市外に向けて本市の情報発信を強化した。 フィルムコミッション事業においては、ホームページのリニューアル及び地域おこし協力隊員を活用した撮影支援体制の刷新と撮影誘致の推進に努めた。 インバウンドのプロモーション活動として「北関東インバウンドサミット2020」を誘致し、市外に向け本市のアピールを行った。 「ひとを集める観光戦略の展開」部分の令和元年度決算額は約3,613万円で、平成30年度決算額に対して約300万円減少した。主な要因は、令和元年度東日本台風の影響により「どまんなかフェスタ」の開催を見送ったことである。 	<ul style="list-style-type: none"> 【令和2年度で解決する課題】 ・日本版DMO候補法人の登録申請 【令和3年度以降にも引き継がれる課題】 ①栃木県や近隣市町及び観光協会と連携し、効果的かつ広域的な観光PR活動を実施 ②ムスリムの受入体制の充実 ③観光客に対する市民の「おもてなしの心」の醸成 ④観光地域づくりを行うための舵取り役となる法人さの版DMO(候補法人)の支援を行う。 【令和3年度重点課題】 ⑤観光誘客数1000万人達成に向けた方策の検討と推進 	<ul style="list-style-type: none"> ①新型コロナウイルス感染症の感染状況を注視しながら近隣市町、関係機関と連携した広域的かつ効果的な観光キャンペーンの実施等、本市の観光情報・魅力を発信する。 ②両毛ムスリムインバウンド推進協議会や企業等と連携し、ムスリム受入態勢の充実を図る。 ③観光ブース及び観光案内所に観光ボランティアガイドを積極的に配置するなど、観光ボランティアガイドの利用促進を図るとともに、「おもてなしの心」で観光客をもてなすボランティアガイドの育成・増員を図る。 ④DMOという新たな手法により、民間目線でのマーケティングマネジメントを導入し「稼ぐ力」を引き出し、観光地経営を行う。 ⑤栃木DCをきっかけとした観光誘客の仕組みづくりと、コンベンション事業及びフィルムコミッション事業の誘致に努める。